

日本史演習 II

2 units 3rd-year(1st semester), 4th-year(1st semester)

Satoshi Kinugawa · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 日本古代・中世史を考える上で重要な論文あるいは史料を精読・検討し、そこにあらわれた諸問題に対する理解力と思考力を深める。

Outline) 日本古代・中世史上の諸問題を考えるために、重要な論文・史料を取り上げて検討する。各回の担当を決めて報告をしてもらい、それをもとに出席者全員で議論していく。

Keyword) 日本史, 古代史, 中世史

Relational Lecture) “日本史演習 I”(0.5)

Notice) あらかじめ担当を決めて報告を受ける演習形式で進める。報告にはレジュメの作成などの準備をする必要があるが、報告の担当者以外にも十分な予習と発言を求める。この授業は、「日本史演習 I」(桑原教官, 火曜 5・6 講時)と密接に関連させて行い、随時共同授業を行う。日本文化研究サブコースで日本史を専攻しようと思う学生は、両授業を必ず受講すること。

Goal) 論文・史料を読解し、それに対する自分の意見(評価・批判)をもつこと。

Schedule)

1. 取り上げる論文テーマの例としては、以下のようなものを予定している。
2. 中世の社会と国家
3. 武士の成立と展開
4. 中世法と裁判の世界
5. 古代・中世の仏教と民衆
6. 荘園制と村落
7. 東アジア世界の秩序と日本
8. 具体的な論文名は授業の中で示す。また以上のテーマに限らず、学生の関心に基づいて素材を決めたい。

Evaluation Criteria) 発表内容、議論への参加度などの平常点、レポートの評価。

Re-evaluation) なし

Textbook) 論文等は、適宜配布する。指定の論文・史料以外にも、参考となるものを広く読む必要がある。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219287>

Contact)

⇒ Kinugawa (+81-88-656-7153, kinugawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月曜日10時30分~12時)